

○ 畜産経営体生産性向上対策

【令和5年度予算額 750 (1,006) 百万円】

<対策のポイント>

酪農・肉用牛経営の省力化に資するロボット・AI・IoT等の先端技術の導入や、それらの機器等により得られる生産情報等を畜産経営の改善のために集約し、活用するための体制整備等を支援します。

<事業目標> [平成30年→令和6年まで]

子畜の出生頭数の増加（乳用牛産子：72.0万頭/年→74.4万頭/年、肉用牛産子：51.7万頭/年→54.7万頭/年）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 畜産経営の生産性向上対策

畜産経営の省力化により生産性向上を図るため、以下の取組を支援します。

- ① 搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
- ② ICT関連機械の規格に合った家畜生産等の推進

1. 畜産経営の生産性向上対策

①省力化により生産性向上につながる機械・装置（各種データ取得が可能）の導入を支援



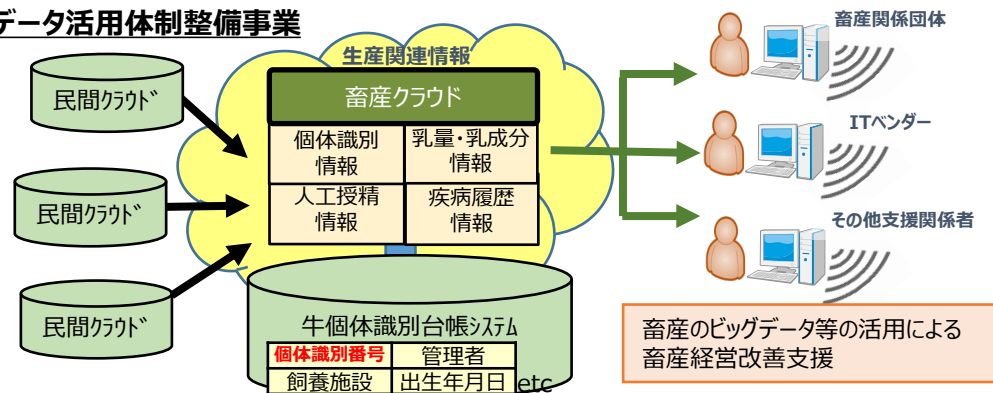
②ロボット搾乳不適合家畜等に関する調査



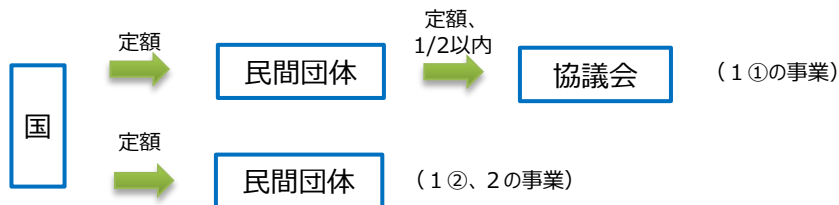
2. 畜産のビッグデータ等の活用に向けた体制整備

畜産関係団体やITベンダー等が連携し、牛の個体識別番号と当該牛に関連する生産情報等を併せて集約し、活用する体制を整備する取組等を支援します。

2. 畜産データ活用体制整備事業



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 畜産局畜産振興課 (03-6744-2587)